

ついに最終回を迎えました

- 理数コース「山門LABO」FINAL (第10回) 実施 -

2月27日(土)、「土曜セミナー」の第3限目、理数コースでは1・2年生合同による「山門LABO」の第10回目、本年度最終回となる講座を実施しました。

【授業担当者のコメント】

第10回 数学「論理的思考力ゲーム」(チームバトル～頭の柔軟さを競い合え！～)

本年度の「山門LABO」FINALは、数学「論理的思考力ゲーム」であった。クイズを題材に、生徒の論理的思考力を問うクイズを5問出題した。生徒から、先輩または後輩と協力しながらチームで競うような講座がよいという要望があったため、今回の内容をチーム戦にした。

- Q①分かったのは誰？
- Q②誰が正直者？うそつき？いいかげん？
- Q③同時に逃げ出す3人
- Q④コインの袋
- Q⑤どのスイッチがどの電球？



数学の“場合の数”

のように、「起こり得るパターンをすべて書き出した上で、可能性がないものを消していき、残ったパターンから正解を導き出すような問題」や、「数学の証明法の一つである背理法を用いて、仮にこういう状況が成り立つとして話を進めてみると矛盾が起こるから、その状況はありえないという論理を展開する問題」など、問題の裏に数字が隠れているものを選択して出題した。

生徒たちの振り返りからもわかるように、他学年と協働して取り組む講座であったため、好評であった。

【生徒の「振り返り」から……】

1・2年生合同での実施がよかった！

- 他者と一緒に考え、結果を導くのが楽しかった。(1年・男子生徒)
- 校内で年上の方と関わる機会は、先生以外にはあまりないので、よい機会になった。(1年・男子生徒)
- 先輩方を「1年後の自分たち」と考えることにより、目標になった。(1年・男子生徒)
- 下級生の手本となれるように意識できた。(2年・男子生徒)
- 協力する大切さを学んだ。(2年・男子生徒)
- コミュニケーション能力が鍛えられた。(2年・男子生徒)
- 自分はわかっても、日ごろは関わりの少ない後輩に伝えたり、教えてもらったりするのはコミュニケーション力がつくし、将来、仕事でも役立つと思う。(2年・男子生徒)
- 特に今年はコロナで大運動会などが中止となり、1年生との交流がなかったから、「LABO」での1・2年生の交流はよかった。(2年・男子生徒)



【生徒の「振り返り」から……】

「LABO」で、こんな力が身についた！

- 協力することがあまり得意ではなかったけど、先輩たちと協力することで、人と協力できるようになったところに成長を感じた。(1年・男子生徒)
- 1・2年生の唯一の交流の機会であり、様々な考え方や、2年生ならではの知識の応用などにふれることができ、同学年を越えてコミュニケーションをとる力がついた。(1年・男子生徒)
- 柔軟な発想や応用もできるようになった。自分の意見も積極的に言えるようになった。(1年・男子生徒)
- 他者の意見を取り入れて物事を考えてみること。考え方の工夫や、自分の思考を変えてみるができるようになった。(1年・男子生徒)
- 以前よりも理数が好きになれた。それは、どの「山門LABO」もとても楽しく、ワイワイやれたからだと思います。どの講座も、理数について詳しくなれたように感じる事ができてよかった。(1年・女子生徒)
- 私は頭がかたくて、一つの考え方だけで悩んでしまうタイプだったけど、たくさんの人の考え方や、数学の使い方などを知って、以前よりもいろいろな考えにチャレンジできるようになりました。話したことがない人に話せるようになったのも成長だと思います。(1年・女子生徒)
- たくさんの人と協力して解決する力や、コミュニケーションをとる力がついたと思う。「LABO」の全ての回が楽しくて楽しみでした。来年度も楽しみです。(1年・女子生徒)
- 考え方が人それぞれあるので、違う視点から考える力がついた。自分の考えを伝えることができるようになったし、一人で考えようとする力もついた。(1年・女子生徒)
- 物の見方や考え方が今までよりも深くなり、成長したと感じる。(2年・男子生徒)
- 論理的に物事を考えられるようになった。規則性をすぐにみつけられるようになった。(2年・男子生徒)
- 協力する力や数学の楽しさを学ぶことができてよかった。また、考える力や想像力を身につけることができ、今後に生かせるかなと思った。(2年・男子生徒)
- 理数的な力が身についたのはもちろん、1年生と接したのも、コミュニケーション面等で成長したと感じた。理数的な体験を楽しくできたのでよかった。(2年・男子生徒)
- 1年生と交流する中で、話を進行する力がついたように思う。(2年・男子生徒)
- 数学だけでなく、学習した一つのことが他のことにも関係していないか、役立てることはできないかと考えるようになった。(2年・男子生徒)
- 自ら進んで人に話しかけるようになったところが成長かなと感じています。(2年・女子生徒)
- 頭を柔軟に使うところ。(2年・女子生徒)



あっぱれ！

【校長の見方】

- まさに目の前は「“主体的・対話的で深い学び”！生徒が“探究”しているじゃないか！“知的好奇心”で動いてるじゃないか！」という現場。私も“超”刺激を受けて、今1・2年生で取り組んでいる「総合的な探究の時間」の在り方・改善策について、A4ペーパー1、2枚ほどにメモし続けました！（LABOそっちのけで!?)
改めて、“本物”に触れると脳が活性化（私の脳でも(^;)）、まさに夢中は努力を超える！ということを実感しました(^_^)v
- 断然、1・2年生合同で実施したことの良さを評価してくれています。1年生にとっては2年生がモデルに。2年生にとっては1年生の前で“背伸び”。これで互いに成長していくんですね。

やっぱり“学び”のベースは、
「なぜ？」「どうして？」「でも？」
「なるほど！」「だったら……」

だから

たんきゅう！ベリー・マッチ

フラボー！理数コース！



「LABO」FINAL 終了後に記念撮影(^)
理数コース1・2年のフラボー！な仲間たち